

平成28年度学校評価実施報告書(全日制)

県立神奈川総合産業高等学校

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月1日実施)	総合評価(3月24日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>① 探求活動、体験活動、研究活動の充実をはかり、生徒一人ひとりが個性を生かして主体的な科目選択ができる系と分野のシステムを構築する。</p> <p>② 創造力、推進力、発信力の育成と学習習慣の確立を目指し、生徒一人ひとりが積極的に自己を伸長させるための学習支援を目指す。</p>	<p>① 国際的に活躍する創造的な科学技術系人材を育成する。</p> <p>② 生徒一人ひとりが主体的に学習する基盤を養い、表現力の育成と学習習慣を確立し、より高い学力を定着させる。</p>	<p>① 実験、実習、演習による科学技術教育及び英語教育の充実と、プレゼンテーション能力の向上及び外部発表会等への積極的な参加。</p> <p>② 基礎学力から発展へ学力向上を目指すための言語活動を重視した授業展開を生かして、思考力、判断力、表現力をはぐくむための主体的な学びと学習習慣の確立。</p>	<p>① 外部発表会等に積極的に参加し、取組状況や活動状況から成果につながったか。</p> <p>② 生徒の学習習慣の定着度が上がったか。</p>	<p>① 探求活動、体験活動、研究活動の充実をはかり、生徒一人ひとりが個性を生かして主体的な科目選択ができる系と分野のシステムを構築する。</p> <p>② 創造力、推進力、発信力の育成と学習習慣の確立を目指し、生徒一人ひとりが積極的に自己を伸長させるための学習支援を目指す。</p>	<p>① 国際的に活躍する創造的な科学技術系人材を育成する。</p> <p>② 生徒一人ひとりが主体的に学習する基盤を養い、表現力の育成と学習習慣を確立し、より高い学力を定着させる。</p>	<p>○ 成果が中心で、課題・改善方策が見えてこない。どの程度、達成できているのかわからない。</p> <p>○ 90分授業で予習・復習はできているのか。その指導はどのようにしているか。</p> <p>○ 予習・復習、進路決定後の学習は保護者の指導も大事である。</p> <p>○ 90分授業なので、大学への移行はスムーズであるように思う。</p> <p>○ 半期認定制度や選択科目が多く、教員の負担が大きいのは、選択科目を精選し、内容の濃い授業にして欲しい。</p> <p>○ 中学生にとって、課題研究のポスター発表は科学技術を知るよい機会である。グループ学習はどのような授業で展開されているか。</p>	<p>○ 学習活動について、学習のシステムは作成した。それをどう運用するかが課題である。生徒にとって履修がよいものであったかどうかは、次年度アンケートなどを実施する。</p> <p>○ 来年度から実施される半期認定制度を検証しながら、選択の幅を広げていく。</p> <p>○ 1年次必修科目の科学技術基礎で科学的知識、実験、発表のグループワークを行っている。ここでの内容が2年次必修科目の課題研究Iへ繋がっている。</p>	<p>○ 生徒にとって履修が良いものとなるかは生徒とのガイダンス、面談に尽きる。生徒の面談を今年度は1週間で行っているが、来年度は期間を2週間に延ばす。そのなかで履修指導や日ごろの学習状況等を含めた個々に応じた指導がより必要になる。</p> <p>○ 教員は授業改善に努める姿勢を持っている。生徒の興味関心をひき、達成感が得られる授業展開を実施していく</p>
2 生徒指導・支援	<p>① 一人ひとりの生徒理解に基づく生徒指導や教育相談体制を充実させ、安心して安全に希望をもって学べる学校づくりを進める。</p>	<p>① 生徒が主体となり、個性に応じた高校生活を送り、安心して安全な、明るく活力のある学校をつくる。</p>	<p>① あいさつの励行および校内美化の推進と、生徒の主体的な活動の促進および支援。</p> <p>② いじめなどの相談体制やケース会議の充実をもとにした教育相談の推進。</p>	<p>① 生徒アンケートによる満足度80%以上を達成できたか。</p> <p>② いじめアンケート等の実態把握で、学校対応が適切であったか。</p>	<p>① 一人ひとりの生徒理解に基づく生徒指導や教育相談体制を充実させ、安心して安全に希望をもって学べる学校づくりを進める。</p>	<p>① 生徒が主体となり、個性に応じた高校生活を送り、安心して安全な、明るく活力のある学校をつくる。</p>	<p>○ いじめアンケートは記名式か。</p>	<p>○ 記名式であるが、無記名でもよいと明記している。また、相談したいことがある場合は出席番号を書くようにしている。</p>	<p>○ 校内いじめアンケートを年3回実施した。また、課題を抱える生徒は多く生徒との対話の中でも掌握に努めている。重要な案件はなく今後も定期的なアンケートを実施し安心安全な学校づくりに努める。</p>
3 進路指導・支援	<p>① 社会で生きるために必要な知識や能力を身につけるとともに、個々の進路希望を実現させるための支援とキャリア教育の推進を行う。</p>	<p>① ガイダンス体制の充実と生徒の主体的な進路選択を支援する。</p>	<p>① キャリア教育実践プログラムに基づいたガイダンスや進路指導の実践と、個々の生徒の相談に対応できる体制と進路指導の充実。</p>	<p>① 年間の進路指導計画にあるガイダンスの実施と、生徒の進路実現の状況が希望する進路先になっているか。</p>	<p>① 社会で生きるために必要な知識や能力を身につけるとともに、個々の進路希望を実現させるための支援とキャリア教育の推進を行う。</p>	<p>① ガイダンス体制の充実と生徒の主体的な進路選択を支援する。</p>	<p>○ キャリア教育により、生徒がどのように変わったかの検証はどのようにしているか。</p> <p>○ 指定校推薦で進路先を決定している生徒の学習意欲の持続はどのようにしているか。</p> <p>○ 指定校推薦で進路先を決定している生徒の学習意欲の持続はどのようにしているか。一般受験を増やす試</p>	<p>○ 生徒が進路を早めに決めたい気持ちが強く、指定校推薦が多い。来年度は新たに導入される実力診断テストで、自分の実力を把握し、一般受験を促す。</p> <p>○ ブラックバイトなどの労働についての</p>	<p>○ 生徒は卒業して満足しているか。この学校に来てよかったのか。アンケートについて貴重な意見をいただいた。現在は在校生のみアンケートを行っているが、卒業生、卒業生の保護者にもアンケート</p>

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月1日実施)	総合評価(3月24日実施)		
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等	
	う。						う。	みはしないのか。 ○ 労働の基本的な法律について指導しているか。 ○ ブラックバイトで働いてしまったときに、しっかり断れる、辞める勇気を育てることも必要である。 ○ インターシップは相模原の企業だが、実際の就職は少ない。地域の企業を知らないのではないか。	指導はポスターの掲示や個別の相談に対応している。 ○ 1年次の授業で全員、地域の企業を訪問している。就職先は相模原の企業は少ないが、自宅から通える企業を選んでいる生徒は多い。	を行うことは興味深く実施の方向で検討する。
4	地域等との協働	① 積極的なボランティア活動を展開し、地域の小中学校や自治会など近隣地域との連携を深め、地域に根ざした教育活動を推進する。	① 地域および他学校間との連携を強化し、開かれた学校とする。	① 学校、家庭、地域が連携した教育活動の展開および開かれた学校づくりの推進と、学校説明会、ホームページ等を活用した学校広報活動の推進。	① 地域や外部機関との連携、活動状況やその成果。	① 積極的なボランティア活動を展開し、地域の小中学校や自治会など近隣地域との連携を深め、地域に根ざした教育活動を推進する。	① 地域および他学校間との連携を強化し、開かれた学校とする。	○ 七夕祭り、ふれあい祭りなどに参加していただき、年々充実してきている。地域貢献に感謝している。 ○ 防犯、防災、交通安全等、今後とも学校に協力していただきたい。	○ 防犯、防災、交通安全等、今後とも学校に協力していただきたい。	○ コミュニティスクールの指定を受け、今後は課題研究や部活動、インターシップなどで特色のある教育活動を推進していく予定である
5	学校管理 学校運営	① 事故不祥事の未然防止を徹底するとともに、教職員の実践的指導力の向上を目指す。 ② 生徒の防災意識を高め、防災教育の推進をはかる。	① 職員の不祥事防止の徹底。 ② 防災教育の充実により、信頼される学校とする。	① 事故防止会議および事故防止研修の継続による職員コンプライアンスの向上。 ② 生徒の防災意識の喚起および安全対策の一層の強化。	① 事故および不祥事件数のゼロを継続できたか。 ② 防災教育の取組状況で具体的な行事等を実施できたか。	① 事故不祥事の未然防止を徹底するとともに、教職員の実践的指導力の向上を目指す。 ② 生徒の防災意識を高め、防災教育の推進をはかる。	① 職員の不祥事防止の徹底。 ② 防災教育の充実により、信頼される学校とする。	○ 防災訓練等での身元確認のシステムはどうなっているのか。 ○ HPのリニューアルの検討はどのようなものを考えているか。	○ 2、3年次は朝のSHRがなく、選択科目も様々な年次が履修しているため、生徒の出欠が把握しづらい。授業の教科担当が確認するが、空き時間の生徒の把握は難しい状況である。 ○ まち comi メールを開封したかを確認できるため、全生徒の登録を促す。 ○ 現在のHPは過去の事業が並び、見づらい状況である。管理も特定の教員が行っている。	○ 防災訓練で出欠確認を行っているが、その意識が生徒にどう伝わっているか。防災訓練の度に、生徒に出欠確認が大切だと話し、その訓練に努めていく。 ○ 予算のこともあるが、外注も視野に入れて充実を図る。ちなみに、全日制サポーターズのHPは外注で運用費は年間約5万円である。